

# ウガンダを身近に感じて

## 館山支援活動のNPOが写真展

7日まで



展示されるウガンダの写真＝館山病院ギャラリーで

アフリカ・ウガンダを「ヒー月間(10月)」の関連する「ウガンダコー」連行事として、館山市の

館山病院ギャラリーで、「ウガンダの人々と暮らしの写真展」が開催中だ。8月にウガンダを訪問したNPO法人安房文化遺産フォーラムメンバーらが撮影した、現地での支援活動の様子やコーヒー農園などの写真約60点が展示されている。7日まで。

安房地域のウガンダ支援活動は、旧安房南高から始まり、高校生、市民によつて24年にわたりの続けられ、現地には「安房南」と名前が付いた洋裁学校もある。

活動の核となる安房文化遺産フォーラムでは、

NGO「ウガンダ意識向上協会」(CUFI)を窓口にさまざまな支援活動を展開。この夏にはメンバー3人が現地訪問し、支援活動の状況やコーヒー農園を視察。ウガンダのコーヒーをフェアトレードで流通させ、支援の輪を広げようというウガンダのコーヒーを飲むキャンペーン「ウガンダコーヒー月間」を企画し、現在安房地域の2店舗が協賛して開催中だ。

写真展では、安房南洋裁学校、キタリア小学校などで貧しい子どもたちを支援するCUFIの活動状況、子どもたち

との交流などのほか、農薬に頼らない自然栽培で生産するコーヒー農園の様子などを紹介している。

NPOメンバーの河辺智美さんは「ウガンダの人々は素直で人とのつながりが強く、現地での交流では学ぶことが多かった。安房地域からの支援がどのように生かされているかなど、現地の様子を見て、身近に感じてもらいたい。コーヒー農園の写真もあるのでウガンダコーヒーにも関心を持ってもらえれば」と話した。

なお最終日の7日は、同病院駐車場でウガンダ支援バザー(午前10時～午後2時)、同病院会議

室でウガンダ視察訪問の報告会(午後3時～4時半)もある。